

時間、空間、表現：重なり合つ出会いの交差点

クロスロード

現代音楽の巨匠、一柳慧が三世代のコンポーザーをプロデュースする
演出家、白井晃が音の息づく空間をスーパー・バイズする
チエロ、ピアノ、箏、オーケストラ 創造力が出会い、ぶつかり、響きあう！

ミ、コ、リ、ジ、ツ、ク、・、ク、ロ、ス、ロ、ード

森円花：
音のアトリウムⅢ～独奏チエロとオーケストラのための～ (2018)

チエロ独奏：上野通明

山本和智：
3人の箏奏者と室内オーケストラのための「散乱系」 (2015/2017)

箏演奏：平田紀子 寺井結子 中島裕康

一柳慧：
ピアノ協奏曲第6番「禅一 ZEN」 (2016)

ピアノ独奏：一柳慧

〔順不同〕

Music Crossroad

2018年1月20日(土) 14:00 木のホール 神奈川県立音楽堂

Sat. 20 Jan 2018 14:00

Kanagawa Kenritsu Ongakudo (Prefectural Concert Hall)

全席指定(税込) 一般 4,000円 特別ペア お2人で 7,000円 U24(24歳以下) 2,000円 ◎好評発売中

*特別ペア、U24は、チケットかながわのみで取り扱います。枚数に限りがあります。

チケットかながわ 0570-015-415 (10:00-18:00) <http://www.kanagawa-arts.or.jp/tc/> (24時間)

音楽堂窓口(13:00-17:00 月曜休) KAAT 神奈川芸術劇場窓口(10:00-18:00) *神奈川県民ホールは改修工事のため休館中です。

チケットぴあ:t.piajp/ Pコード 347-726 イープラス:eplus.jp/ ローソンチケット:l-tike.com/ Lコード 34078

*未就学児童のご入場はお断りいたします。

託児サービス[要予約・定員制] お子様お一人につき 2,000円 イベント託児マザーズ 0210-788-222 (土日除く 10:00-12:00/13:00-17:00)

*出演者・曲目等は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

主催：神奈川県立音楽堂 [指定管理者：公益財団法人神奈川芸術文化財団]

日本が西欧近代世界と出会って150年。急速な転回を遂げた芸術はいま、どこに立っているのか…？ 世界の最前線で根源的な問いを発してきた作曲家・ピアニスト、一柳慧が、自らも含め三人の作曲家を選んだ。立脚点も視界も異なる三世代だが、作品は同時に2000年代の今を生きる。自由に鳴動するチェロがオーケストラと共に音の空間を形成する森作品。三面の筝から絃を客席いっぱいに巡らす前代未聞の演奏空間を創る山本作品。ピアノソロの各セクションの演奏順序を自由に変えつつ特殊奏法を用いる一柳作品。現代音楽界屈指の作品洞察力を評価される指揮者の杉山洋一ら、気鋭の奏者たちが三つの協奏曲に挑む。音楽を内包する演劇表現を生み出してきた演出家の白井晃が、空間を監修する。このコンサートはいくつもの創造力が出会う交差点となる。

従来のやり方や状況を変えるエネルギーを発信する、森円花さんと山本和智さんの若い二人の「人間力」に注目した。言葉を軸とした芸術である演劇の芸術家、白井晃さんが、「音」が言語となる音楽空間をどう監修して下さるかにも期待している。粹にとらわれない音の世界。大実験を味わって欲しい。 (一柳慧)



一柳慧(作曲、ピアノ)

Toshi Ichiyanagi, composer, pianist

神奈川芸術文化財団芸術総監督。ピアノを原智恵子、B.ウェブスターに師事。高校時代1949年毎日音楽コンクール(現日本音楽コンクール)作曲部門第1位。52年19歳で渡米。ジュリアード音楽院卒業。この間クーリッジ賞、グレチャニノフ賞受賞。ジョン・ケージと知己を得、偶然性や図形楽譜による音楽活動を展開。61年帰国後も国内及び欧米から委嘱を受けて精力的に作品発表と演奏活動を行い、様々な分野に強い刺激を与える。尾高賞を5回、フランス芸術文化勲章、毎日芸術賞、京都音楽大賞、サントリー音楽賞他多数受賞。2008年文化功労者、2016年度日本芸術院賞及び恩賜賞受賞。

自分はピアノ協奏曲を5番まで書いて、そのたびに自分を超ようとしてきた。ジャズ、左手のみ、と書いてきて、本曲では初めて内部奏法を使ったものを作った。ピアノは鍵盤楽器だが、同時に弦楽器でも打楽器でもあり、今も常に進化し続けています。何も鍵盤ばかりに拘束される必要はない！ (一柳慧)



山本和智(作曲)

Kazutomo Yamamoto, composer

1975年山口県生まれ。独学で作曲を学ぶ。オーケストラ、室内楽、アンサンブル、合唱、独奏曲、映画音楽など作曲活動は広範に亘り、作品は東フィル、日本フィル、京都フィル室内合奏団等の演奏団体・演奏家により日本をはじめ海外で広く演奏され評価されている。2009年度武満徹作曲賞第2位(審査員:ヘルムート・ラッヘンマン)、2010年第5回JFC作曲賞(審査員:近藤謙)等受賞多数。

その大仕掛けゆえ再演はないと思っていた作品。こんなに早く再演が決まることに驚きと喜びを隠せません。木のホール全てが楽器になる瞬間を、是非体験してください！ (山本和智)

山本さんの曲は、まともには演奏できない。ひとひねりふたひねりやって、さらに曲の演奏を困難にしながら、それを乗り越えて演奏の場を開拓しているところが面白い。機械化した現代の限界を感じさせ、人間力や自然の力に目を向けさせる。 (一柳慧)



森円花(作曲)

Madoka Mori, composer

2014年20歳で第83回日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽部門)第2位。桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て桐朋学園大学卒業。2017年同大学研究科を修了し、同年より母校の非常勤講師として後進の指導にあたる。在学中、桐朋学園大学オーケストラグリーンホール定期演奏会、東京文化会館モーニングコンサート、調布音楽祭、その他様々な学内外の演奏会に出品。作曲を三瀬和郎氏に師事。

私にとって新しさとは、過去を否定するのではなく敬意を持ち、そして決して満足しないことです。20歳の時に書き上げた曲により高いクオリティと強い伝達力を求めて手を加え、2018年版としました。ホールと音楽、聴き手と演奏家との間に熱い化学反応が起こることを確信しています。 (森円花)

この曲は古典的なメリハリの作法にお構いなく、自由に作曲しているところが私は気に入っている。ほとんど弾きっぱなしで活躍するチェロに、森さんのバヤタリティ、情熱、勇気が感じられる。底知れぬ迫力がある。 (一柳慧)



杉山洋一(指揮)

Yoichi Sugiyama, conductor

1969年生まれ。2000年、アンサンブル・モデルンを皮切りに、オーケストラ・ミラノ・ムジカ、クラシック・フォーラム・ウーンを、日本では都響、新日本フィル、仙台フィル、東京混声合唱団を指揮。オペラではカザーレ「ショムスキーとの対話」(ボローニヤ)、メルキオーレ「碁の名人」初演(ヴェローナ)、「ファルスタッフ」(高松)、「魔笛」(仙台、白河)、細川俊夫「大鶴」(ボルツァーノ)等を指揮。作曲家としても国内外から多数の委嘱を受けており、第13回佐治敬三賞を、第2回一柳慧コンテンポラリー賞を受賞。



上野通明(チェロ)

Michiaki Ueno, cellist

2009年、13歳で第6回若い音楽家のためのチャイコフスキーオークションコンクール日本人初の優勝。第6回ルーマニア国際音楽コンクール最年少第1位。2014年ブームス国際コンクール第1位。新日本フィル、東響、東フィル、日本フィル、ロシア響他、国内外のオーケストラと多数共演。桐朋学園大学ソリストディプロマコース特待生として毛利伯郎氏に師事。2015年よりデュッセルドルフ音楽大学にてピーター・ウイスペルウェイ氏に師事し、更なる研鑽を積む。2016年青山音楽賞新人賞受賞。



平田紀子(筝)

Noriko Hirata, koto player

大阪府出身。深海さとみに師事。東京藝術大学邦楽科卒業。在学中に宮城賞受賞。卒業に際してアンサンス音楽賞、同声会賞受賞。宮城道雄記念コンクール、賢順記念くるめ全国筝曲祭、利根英法記念邦楽コンクールで1位受賞。作曲家の公演や音楽祭、シンポジウム、作曲コンクールでの演奏など、古典音楽に加えて現代音楽分野で活動する。邦楽四重奏団員。日本音楽の教育と研究をつなぐ会会員。東京藝術大学教育研究助手。



寺井結子(筝)

Yuiiko Terai, koto player

福島市出身。遠藤千晶に師事。東京藝術大学邦楽科卒業。在学中に宮城賞及び同声会賞受賞。同大学院音楽研究科修了。NHK邦楽技能者育成会第55期修了。NHK-FM「邦楽のひととき」「邦楽百番」出演。東京と福島を中心に後進の指導にあたり、葛飾区内では筝体験講座の講師を務める等、邦楽の普及にも力を注ぐ。生田流筝曲宮城社師範。松戸市役所筝曲部講師。(公社)日本三曲協会、森の会、妙祐会、福島県三曲連盟所属。



中島裕康(筝)

Hiroyasu Nakajima, koto player

茨城県出身。後藤すみ子、樋口雅礼瑠、浜根由香の各氏に師事。東京藝術大学邦楽科卒業。卒業時に御前演奏をする。第38回茨城県新人演奏会で新人賞、第20回賢順記念筝曲祭コンクール賢順賞など国内コンクールで最優秀賞を受賞。Eテレ「にっぽんの芸能」出演。2016年東京文化会館にて第1回リサイタルを開催。伝統的な音楽から現代音楽、新作の初演まで「筝の力」をテーマに探求する。正派邦楽会師範、邦楽四重奏団などに所属。

